



遊具・樹木の損傷や事故を誘発する可能性があるため、公園には、原則として雪を捨てることは できません。しかし、町内会と札幌市との間で協定を結び、責任を持ち、ルールを守ることで、 公園内に雪をおくことができます。





申し込み方法 受付は、令和4年12月5日(月)~12月27日(火)までに

幌西会館 (平日9時~5時受付) 恒 561-3256 Fax 552-9265

Faxは 氏名・学校名(幼稚園・保育園)・学年・連絡先 明記して下さい (コロナ対策の為)

電話・Faxの他 直接幌西会館に出向き申込書に記入も可 当日上履きを用意して下さい

コロナ対策 (人数制限)の為事前の申し込みが必要です

コロナ対策 マスク着用・検温・消毒・密にならない座席設定 ※ コロナ感染状況により中止になる場合ガあります <u>◎ 中止の場合・・幌西会館に掲示</u>

主催 幌西地区青少年育成委員会・幌西地区連合町内会青少年部・幌西児童会館

令和4年12月

幌西地区連合町内会の皆様へ

幌西地区連合町内会 会長 土井清純

女性部担当理事 本田玲枝

女性部部長 山田和枝

≪ 女性部新年のつどい ≫ のご案内

師走の候、皆様におかれましてはご健勝の事とお慶び申し上げます。
日頃から女性部の行事にご支援、ご協力、ご参加いただきまして有難うございます。
新型コロナウイルスの動向を注視しつつ開催可否について検討してまいりましたが
会場を札幌ガーデンパレスに変更し(新北海道スタイル)安心宣言の下
≪女性部新年のつどい≫を下記の要領にてご案内申し上げます。
女性部一同、皆様に楽しいひと時をお過ごし頂きたく思っております。
皆様、お誘い合わせの上ご参加ください。
尚、事情により開催出来ないと判断した場合は、ご参加の皆様にご連絡させて頂きます。

<u>-</u>

*	とき	令和5年1月16日(月) 午前11時~午後1時
*	ところ	札幌ガーデンパレス(北1条西6丁目 🛱261-8711
×	会 費	2,000 円
*	懇親会	会食・ビンゴゲーム (景品があります。)
*	締切り	令和5年1月5日(木)までにお名前、お電話番号を
		各単町の女性部までお申し込みください。

本間 563-1265 女性部長





スマートフォンやパソコン・タブレットを使って、 自宅で筋トレやストレッチをしてみませんか? コロナ禍で外出の機会が失われますので、 体力面&精神面の低下を防ぎましょう!





対象: 曙・幌西地区にお住いの概ね65歳以上の方 参加費:無料 ※接続に伴う通信料は自己負担となります が、Wi-Fi (ワイファイ)があれば、通信料の負担は ありません。

随時、お申込みを受け付けています♪

く全面的にサポートします!> ・興味はあるけど、使い方がわからない ·アプリって?Wi-Fiって?

お気軽に参加して下さいね♪ 気分転換できますよ!気持ち いい汗を流しましょう☆ 秋山





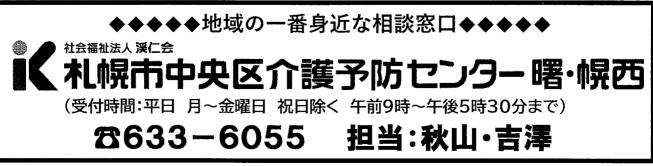
私たちが担当します!自宅でも 体操できるお手軽さを、ぜひ 体験して下さいね~♪ 吉澤

裏

面 あ 6)

ZOOM

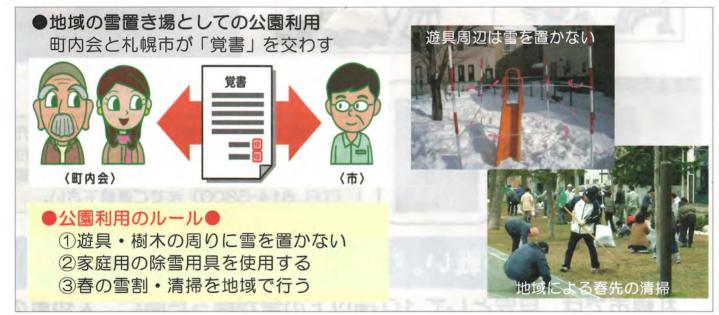
ミーティングID 248 754 5203





地域の雪置き場としての公園利用のルール

公園に雪を入れることは原則禁止ですが、町内会と札幌市が 『覚書』を交わし、責任とルールを明確にすることで、公園を地域 の雪置き場として利用することができます。



区内の公園では、遊具や樹木に雪を乗せる行為も見受けられます。 このような行為は、大切な遊具や樹木を傷め修理に費用が掛かるだ けでなく、子どもに危険が及ぶことにもなりますので、ルールの順 守をお願いいたします。



ツルンと滑る道には・・・砂をまいて安全に!

冬季のツルツル路面での転倒による事故防止のため、札幌市で は市内各所に砂箱を設置しており、中には滑り止め用の砂(砂袋) が入っています。

砂箱の中の砂は、誰でも自由に使うこと ができます。転倒事故をなくすためにも、 道路がツルツルの時には、ぜひ砂まきに ご協力をお願いいたします。







作:専門学校札幌デザイナー学院 大西 温太さん



定期的にパトロールをして砂箱に砂袋を補充 していますが、空になっていることに気が付 かれた方は中央区土木部維持管理課 (TEL.614-5800)までご連絡下さい。

除雪は時間との戦い。『かき分け除雪』へのご理解を!

札幌市では、目安として 10 cm以上の雪が降った時に、人や車の 少ない深夜から通勤通学時間までの間で除雪しています。

限られた時間と限られた除雪機械 で全ての道路を除雪するため、道路 の両側に雪を寄せる『かき分け除雪』 になります。

除雪作業を行った後に残った、玄 関前や車庫前の雪かきは、地域の皆 さまにご協力をお願いしています。

地域の皆様のご協力をお願い致します。

雪の多い札幌の冬を乗り切るには、札幌市の除雪作業だけでは難しいことが多いです。 地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。 ご意見・ご感想などがございましたら、右記までお気軽にご連絡ください。



中央区土木部維持管理課

っぽろす

TEL.614-5800

「出会い」「ふれあい」「助け合い」の三あい運動で福祉の輪を広げよう!



赤い羽根共同募金街頭募金運動へのご協力 ありがとうございました



今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。 寄せられた募金は地域で行われるさまざまな福祉活動の他、国内各地で発生する地震や台風など による災害発生時の被災者支援活動などに使われることとなります。

10月1日から7日の期間は街頭募金を実施し、新型コロナウイルス感染症防止の観点により、各団体の皆様にはマスク・手袋着用、ソーシャルディスタンスの確保などの対策のうえ募金活動にご協力いただきました。

街頭募金の実績は中央区全体で、178,374円となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています

街頭募金運動に賛同、ご協力いただいた皆様と各店舗等のご紹介 (順不同、敬称略)

老人クラブ

シニアすこやかクラブ、円山北町クラブ、 円山西町幌見会、幌西長栄会、桑園桑の実会

民生委員児童委員

区内各地区民生委員児童委員協議会 (東北、苗穂、東、豊水、曙、大通、西、円山)

連合町内会等地域住民組織

本府地区女性部、苗穂地区婦人部、東地区女性部、 豊水地区女性部、曙地区女性部会、山鼻地区女性部、 大通地区女性部、西地区女性部、円山地区女性部、 桑園地区女性部、宮の森大倉山地区女性部













ふれあい・いきいきサロン等

ファミール中島公園ひまわり会、おしゃべりサロン、

ライラックサロンほのぼの、中央区ボランティア連絡会、

えぞりす、ギャラリー健康増進サロン、火曜会、

NPO法人シーズネット、札幌心療福祉専門学校

サッポロファクトリー、スーパーアークス山鼻店、

菓か舎すすきの店、中央区役所仮庁舎、

円山公園、中島公園)

募金場所提供確保に協力いただいた店舗及び施設等

コープさっぽろやまはな店、狸小路商店街、すすきのビル、

幌西まちづくりセンター、円山動物園、JR桑園駅、JR苗穂駅、

地下鉄各駅(西11丁目、西28丁目、バスセンター前、







8月14日(日)・15(月)の2日間、札幌 市共同募金委員会と合同で円山動物園でのイ ベント募金を実施しました。当初は8月16日 までの3日間の予定でしたが、あいにく悪天 候のため 16 日は中止となりました。両日とも 多くのご家族連れや観光客に訪れていただき、 大盛況でした。



▲動物園とのコラボバッジも人気でした

心福マルシェ イベント募金

9月17日(土)に、札幌心療福祉専門学 校が農福連携の取り組みで野菜の販売を行うイ ベント「心福マルシェ」で募金活動を行いまし た。赤い羽根共同募金活動の普及、啓発と周 知を目的として実施したところ、マルシェの野 菜販売コーナーに訪れたご家族連れなども募 金してくださいました。また、今年度は札幌心 療福祉専門学校の学生の皆さんに街頭募金に も参加していただきました。



▲地域の方にも訪れていただきました



福祉のまち推進事業は、「住み慣れた家で安心して、ずっと暮らしたい」と いうみんなの願いをみんなで支える事業です。

近年の社会環境、世帯状況の変化に伴い、地域における人間関係の希薄 化が進み、コロナ禍においてさらに社会的孤立が大きな問題となっています。 今まで以上に身近な地域での、見守りや支え合い活動が必要になってきて います。

そのため、各連合町内会単位に設置されている地区福祉のまち推進セン ター(以下「地区福まち」)では、住民同士の支え合い活動を広げていくために、 さまざまな取り組みを行っています。

西地区 気軽に参加できる新しい取り組みがスタート 多彩な内容で「ふれあい交流」の場を広げていきます!

西地区は、戸建て住宅とアパート、高層マンションが建つ都心部に近接した地域です。

西地区福祉のまち推進センターは平成 12 年に 開設され、高齢者の健康づくりや交流活動に力を 入れてきましたが、ここ 2 年程はコロナの影響で 福まち活動が思うようにできませんでした。

しかし、その間、これからの福まち活動につい て悩みながらも皆でアイデアを出し合い、企画を 練っていました。

「地域の高齢者から"会話できるところが少ない"という声も聞かれ、誰もが気軽な気持ちで集まれる場をつくることが大事だと思いました。人それぞれ興味・関心が異なりますので、多彩な内容でセミナーやサロンのメニューを考えました」と西地区福祉のまち推進センターの加藤会長。

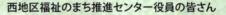
ふれあい交流事業の第1弾として、9月28日 に司法書士を講師に迎え、『相続セミナー』を開 催。会場は多くの参加者で埋まり、熱心に質問す る姿も見られ、関心の高さがうかがえました。

西地区民児協会長でもある杉山代表幹事は、 「転入者が多い地域柄、住民同士の交流が希薄 になりがち。こうしたイベントは、顔見知りにな るきっかけにもなり貴重。マンションの掲示版に 案内チラシを貼ってもらう等周知方法も検討して いるところです」と話します。

また、西地区は、従前 から連町女性部が中心とな り、地域住民の健康づくり に力を入れてきました。「福 まちで行っている『はつら つ健康教室(月3回開催)』 では、休んだ人の家に大



▲9月28日開催「相続セミナー」





代衣轩争	云訂轩争	五衣
杉山 智氏	金澤邦子氏	加藤 登氏
(民児協会長)	(連町女性部長)	(連町会長)

丈夫か様子を見に行く等さりげない見守りも行っ ています。今年の新しい企画をとおして、福まち 活動が少しずつ浸透していくのではないかという 希望を持っています」と女性部長の金澤会計幹事。

年度内に『マンドリン演奏会』『フラワーアレ ンジメント』『スマホ教室』の開催が決まってい る西地区福まち。「参加者の意見や要望も取り入 れ、幅広い層が参加できるいきがいづくり、ふれ あい交流活動を充実させていきたい」と語る加藤 会長。西地区のこれからの活動が楽しみです。



▲月3回開催「はつらつ健康教室」